



森小学校だより

第7号 平成23年11月1日 発行

晩 秋

校長 榊原 茂

紅葉の便りが聞かれてしばらく立つと里にもその気配がして来ます。過日、町文化会館に行ったときに街路樹が赤く色づき始めていました。晩秋の遠州路、最後を飾る森の祭りも今週末になりました。昔の面影の残る町並みを練る屋台も風情がありますが、色づいた次郎柿をバックにした屋台もよい景色だと思います。子どもの心に残る四季の風景は、心豊かな大人となるための礎となるのではないのでしょうか。

そういった意味でも、今年の祭りが楽しい思い出として残る祭りになってほしいと願っています。過日10月31日には、森の祭り祭典本部の方に来ていただき祭りへの参加態度についてお話していただきました。御家庭でも御指導をよろしくお願い申し上げます。



11月の学校経営から

今月は、学年の行事ですが大きなものが2つあります。一つは5年生の宿泊訓練であり、もう一つは6年生の修学旅行です。



H22 修学旅行

学校は学ぶところだと言われますが、その内容はもちろん教科の学習ですが、もう一つ集団生活のルールがあります。個人としての生活習慣は生まれてからずっとそれぞれの家庭で教育されてきますが、他人と生活できることも大人になるについては必要なことです。学校はその場であるはずですが、毎日生活しているとわがままも出て他人と生活していることを忘れてしまうことすらあります。宿泊訓練も修学旅行もそういった自分を見直し、改めて集団生活

のルールに気づくということを目的として行われます。修学旅行では地下鉄やホテル等見ず知らずの人々の中での行動が問われ、宿泊訓練ではほとんど知らない大坂小学校の人々と活動を共にしその中でどのようにしたらよいのか問われます。安全第一で楽しい活動をしてきますが、このような学びの場であることを御理解ください。



H22 宿泊訓練

幼・小・中で進めている

「心豊かな子供を学校・地域・家庭の力で育てよう」～自慢づくり事業

今年から、子どもたちに心豊かな人間になってほしいという願いを、学校と家庭と地域が手を取り合って育てようということで進めています。学校でもあいさつ運動を行っています。PTA活動の柱にもあいさつ運動を取り上げていただいています。それだけでなく、それぞれの地域での活動に子どもたちも参加しようと呼びかけています。

ところで、この活動の一つとして、「講演会」を計画しました。11月30日の夜文化会館小ホールで実施すると御案内を申し上げているところですが、まだ空席がありますので御参加いただくとありがたいです。

校内運動会を振り返って

朝までの雨で運動場全体に広がる水たまり、今日は晴れるという天気予報・・・実施できるのか迷ったあげく1時間遅れで行おうと決定しました。

さっそくの運動場での水取り。そのうちに職員だけでなく保護者の方、中学生、近所の方が加わっていただき、1時間遅れで何とか実施にこぎつけました。

作業のたいへんさはあっても、助けていただいたことに職員そろってさわやかな気持ちで運動会に臨むことができました。本当に感謝です。

今年の運動会は、子どもたちの思いを生かし進んで取り組む子どもたちにしようという職員の気持ちが、開会式を子どもたちの劇で進めていたところや応援に表れていました。特に、応援では、リーダーになった6年生の工夫が今までにないリズムで構成されていたり、下級生も参加し競技中絶え間ない応援ができたことは立派でした。



開会式



応援

このように、いつもと同じように開催されている運動会ですが、「今年は〇〇を」という年度初めの方針を受け計画されます。これが、子どもたちの思いを生かし進んで取り組む子どもたちにしようということであり、その姿が運動会の中に見事に表れていました。今年の運動会の閉会式の中で期待に答えてくれた子どもたちに目が潤む思いでした。



大玉送り



組体操



紅組優勝